

本資料は、タペストリー・インクが2022年5月12日(木)午前7時(日本時間:同日午後8時)に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

< 報道関係者各位 >

タペストリー・インク 2022 年度第 3 四半期の業績を発表

- デジタルが牽引し、収益は前年比 13%成長を達成
- 北米では全ブランドで新規顧客獲得率が 10%台半ばの上昇
- GAAP ベースの EPS は 0.46ドル、非 GAAP ベースの EPS は 0.51ドルで、会社の予想を大幅超
- 2022 年度中の約 19 億ドルの株主還元へ向けて順調に推移
- 新たに 15 億ドルの自社株買い戻しを取締役会が承認

こちらの[リンク](#)から各ブランドの解説を含む 2022 年度第 3 四半期の業績説明資料(英語のみ)がダウンロードできます。

ニューヨーク 2022 年 5 月 12 日 – ニューヨークに本拠地を置き、コーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンをグローバル展開するモダンラグジュアリー アクセサリー & ライフスタイルのマルチブランド企業であるタペストリー・インク(NYSE:TPR)は、本日、2022 年 4 月 2 日に終了した 2022 年度第 3 四半期の業績を報告しました。

タペストリー・インク最高経営責任者のジョアン・クレヴォイセラは次のように述べています。

「当社の第3四半期の業績は、引き続き好調な北米に牽引されて、予想を大幅に上回りました。各ブランドの活力、当社プラットフォームの強靭さ、チームの戦略的イニシアチブの遂行力を活かして、コーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンの需要増に拍車をかけました」

「当社の業績は、ポートフォリオ全体の有意義な躍進を裏付けるものです。私たちはアジャイルでデータ豊富なプラットフォームで増強された独自性のあるブランドを擁し、マジックとロジックを融合させた独特な手法を駆使しています。この差別化要因によって、急速に進化する環境のなか、お客様との永続的な関係構築に必要な絶え間ないイノベーションが実現できるのです。私たちは長期的な成長機会を確信しており、これからもお客様と株主のための価値向上の取り組みを堅持していきます」

資本の分配

タペストリー・インクは年初来の好業績、強固な財務体質、高水準のフリーキャッシュフロー創出、そして成長見通しを鑑み、2022年度中の株主還元を前回見通しの15億ドル以上から上積みして約19億ドルとする予定です。また取締役会は新たに15億ドルの自社株買戻しプログラムを承認しました。

- **自社株買戻しプログラム:** タペストリー・インクは現在のところ、前回見通しの12億5,000万ドルから3億5,000万ドル増加させ、2022年度中に16億ドルの普通株式買戻しを見込んでいます。2022年度第3四半期に、タペストリー・インクは普通株式約1,300万株を平均37.06ドルで買い戻すために5億ドルを充当しました。また、2022年度最初の9ヶ月間で、普通株式3,100万株を平均39.88ドルで12億5,000万ドル相当買い戻しました。2022年度第3四半期末時点における承認済み残高は3億5,000万ドルで、第4四半期中に使用する意向です。さらに、新たに発表された承認により15億ドルが利用可能で、タペストリー・インクは2023年度に使用開始する予定です。
- **配当金の支払い:** 取締役会は、2022年6月3日の営業終了時点で株主名簿に記載されている株主に対し、1株当たり1.00ドルの年間配当金、すなわち会計年度中に約2億7,000万ドルの株主還元で、2022年6月27日に普通株式1株当たり0.25ドルの四半期配当金を支払うことを決議しました。将来的には利益成長率を上回るペースで増配していく意向です。

2022年度第3四半期の業績に関する主なハイライト

- 各ブランドの2桁増を含む13%増と収益増加ペースを加速しました。
- 厳しい外的環境にもかかわらず、グローバルで予想を上回る売上を達成。北米では22%の増収を果たし、コロナウイルス感染が再燃した中国本土の10%台半ばの減少を完全に相殺しました。
- デジタルが引き続き好調で、前年比20%増を超える増収となりました。
- 販管費の構造的なコスト削減分を、成長性を重視したマーケティング活動へ積極的に支出するなど、ビジネスに再投資しました。
- 1株当たり純利益は予測及び2019年度のパンデミック以前の水準を上回りました。

2022年度第3四半期のアクセラレーション・プログラムに関する主なハイライト

2022年度第3四半期中、タペストリー・インクは、消費者へのフォーカスの先鋭化、デジタル・ファースト思考によるデータの活用、よりスリムで対応力の高い組織への変革といったアクセラレーション・プログラムが奏功して、引き続きめざましい進展を果たしました。

- **北米の全チャンネルで140万人以上の新規顧客を獲得。** 店舗とオンラインの両方が伸長し、前年比で10%台半ばの増加となりました。
- 消費者中心の視点の維持、お客様との感情的なつながりの醸成により、**平均支出額の上昇、リピート率の向上、そして引き続き全ブランドでの休眠顧客の再活性化**につながりました。

- **引き続きコーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンの全ブランドで主力カテゴリの世界的な平均小売単価上昇を実現。**ブランドの好調な勢い、主力製品の牽引力向上、一部製品の値上げ、割引販促の削減に向けた構造改革が引き続き奏功したことを反映しています。
- お客様のショッピング体験向上及びコンバージョン促進を目的として、**デジタル・ケイパビリティの高度化**に向け、人材獲得を含む大規模投資を行いました。会計年度における同チャネルで、売上全体の30%に相当する20億ドルの収益達成を引き続き見込んでいます。
- **2022年度のランレートで総額3億ドルの経費節減実現に向けて引き続き順調に推移**しており、ブランド力強化施策に投資していく予定です。

タペストリー・インクの 2022 年度第 3 四半期の業績

- **純売上高**は、前年同期の12億7,000万ドルに対して13%増の14億4,000万ドルとなりました。
- **売上総利益**は報告書ベース及び非GAAPベースで10億1,000万ドル、売上総利益率は69.9%となりました。消費者の需要に対応した製品フローを維持するため送料費が合計6,300万ドル、440ペーシスポイント増加し、予想どおり売上総利益率にマイナスの影響を与えました。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの売上総利益は9億1,200万ドル、売上総利益率は71.6%でした。
- **販管費**は報告書ベースで前年同期の7億9,500万ドルに対して8億3,600万ドル、対売上比の販管費率は前年同期の62.5%に対して58.1%となりました。非GAAPベースでは、販管費が前年同期の7億2,900万ドルに対して8億2,900万ドル、対売上比の販管費率は前年同期の57.3%に対して57.7%となりました。
- **営業利益**は報告書ベースで前年同期の1億1,700万ドルに対して1億6,900万ドル、営業利益率は前年同期の9.2%に対して11.8%となりました。非GAAPベースの営業利益は1億7,600万ドル、営業利益率は12.2%となりました。なお非GAAPベースの前年同期の営業利益は1億8,300万ドル、営業利益率は14.4%でした。
- **支払利息の総額**は、前年同期の1,700万ドルに対して1,500万ドルでした。
- **その他の支出**は、前年同期の400万ドルに対して300万ドルでした。
- 2022年度第3四半期の**純利益**は報告書ベースで前年同期の9,200万ドルに対して1億2,300万ドル、希薄化後1株当たり利益は前年同期の0.32ドルに対して0.46ドルとなりました。2022年第3四半期の報告書ベースの税率は前年同期の3.8%に対して19.2%でした。非GAAPベースの2022年度第3四半期の純利益は1億3,600万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.51ドルとなりました。なお非GAAPベースの前年度第3四半期の純利益は1億4,500万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.51ドルでした。非GAAPベースの2022年度第3四半期の税率は前年同期の10.3%に対して13.8%でした。

貸借対照表とキャッシュフローに関する主なハイライト

- 2022年度第3四半期末時点で、**現金及び現金等価物、並びに短期投資**は合計で10億7,000万ドルとなり、**借入金残高の合計**は15億9,000万ドルでした。
- 2022年度第3四半期末時点での**棚卸資産**は、前年同期末時点の7億ドルに対して9億1,300万ドルでした。棚卸資産が前年比で増加したのは、積送品の増加によるものです。
- 年度累計の**フリーキャッシュフロー**は、前年同期の8億7,600万ドルの流入に対して5億4,100万ドルの流入でした。年度累計の**設備投資及びクラウド化に関連する導入費用**は、前年同期の6,900万ドルに対して1億1,900万ドルでした。
- 2022年第3四半期終了後の5月に、タペストリー・インクは財務の柔軟性を維持しながら自社株買いの増加を支えるため、**資本構造**を最適化する措置を講じました。既存クレジット・ファシリティの借り換え及び変更のため、償還期限を2027年5月まで延長し、与信枠を12億5,000万ドルに拡大し、5年間のタームローン5億ドルを含む、新たなクレジット・ファシリティを設定しました。このタームローンで調達した資金は、2022年7月に償還満期を迎える合計4億ドルの社債の2022年度中の償還及び事業一般のために使用されます。

非 GAAP の調整

2022年度第3四半期中、タペストリー・インクは税引前利益を600万ドル、純利益を1,400万ドル、希薄化後1株当たり利益を0.05ドルそれぞれ減少させた特定の項目を計上しました。これらの項目には以下を含みます。

- **アクセラレーション・プログラム**: 主にタペストリー・インクの包括的かつ戦略的なイニシアチブの策定及び遂行に伴って発生した株式報酬及び専門家の費用に関連する税引前費用600万ドル。引き続きこのアクセラレーション・プログラムの期間中、主に株式報酬及び専門家の費用で構成される、2022年度第4四半期分の残額約1,000万ドルを含め、総額約2億1,500万ドルから2億2,000万ドルの税引前費用の発生を見込んでいます。

報告書ベースから非GAAPベースへの調整項目の詳細は本プレスリリースの財務諸表3～6をご覧ください。

2022 年度業績見通し

タペストリー・インクの2022年度業績見通しは非GAAPベースで提供され、本プレスリリースの「2022年度業績見通し - 非GAAPの調整について」に記載しているアクセラレーション・プログラムに関連する費用を除外しています。

タペストリー・インクは2022年度業績見通しを修正していますが、これは(i)中国の新型コロナウイルス感染症に伴う圧力の高まりで0.25ドルから\$0.30ドルの逆風が予想されること、(ii)一般特惠関税制度(GSP)に伴う遡及的利益が当社の本年度業績には適用されない見込みで約0.17ドルのマイナスの影響が予想されることによるものです。これらの外的要因を除外すると、主に北米を中心とするその他の地域の底堅い業績動向と、追加的な自社株買戻しによる0.04ドルの寄与により、前回の見通しを0.25ドルから0.30ドル上回ると予想しています。以下の業績見通しはすべての従前のガイダンスに置き換わるものです。

- **収益**は比較可能な52週ベースで前年比10%台後半の成長率で約67億ドル。タペストリー・インクの過去最高レベルの売上高となる見込み。
- **支払利息総額**は、約6,200万ドル。
- **税率**は、現在の税法が継続すると想定して約18.0%。
- **希薄化後の加重平均株式数**は、2022年度中に予定している16億ドルの自社株買戻し分を含む約2億7,100万株。
- **希薄化後 1株当たり利益**は、比較可能な52週ベースで前年比20%近い成長となる3.45ドル付近。

今もなお続く新型コロナウイルスパンデミックの動的な性質から、業績が現在の見通しから大きく異なる可能性があることにご留意ください。タペストリー・インクが予測し得ない外部事象としては、再び世界的にパンデミックが拡がり、その結果としての来店の制限、生産及び物流の遅延が続く可能性やコスト増といったさらなるサプライチェーンの混乱などが含まれます。

カンファレンスコールについて

タペストリー・インクは、本日 2022年5月12日午前8時00分(米国東部標準時)に、今回発表の業績についてのカンファレンスコールを実施します。ご関心のある方は、インターネットにてライブのウェブキャスト www.tapestry.com/investors にアクセスされるか、カンファレンスコール(1-866-847-4217 または 1-203-518-9845 にダイヤルし、カンファレンス ID 2898477 を入力してください)へお申し込みください。電話による再放送(1-800-283-4641 または 1-402-220-0851 にダイヤル)は同日の米国東部標準時、正午より5営業日の間お聞きいただけます。ウェブキャストの再放送はタペストリー・インクのウェブサイト上で5営業日の間アクセスすることができます。業績説明資料も www.tapestry.com/investors でご覧いただけます。

今後の予定について

タペストリー・インクの2022年度第4四半期の業績発表は、2022年8月18日(木)の予定です。また2022年9月には、長期的な戦略的施策及び業績見通しについて説明するInvestor Dayの開催を予定しています。

今後お知らせを受信されたい方は www.tapestry.com/investors (“Subscribe to E-Mail Alerts”)にご登録をお願いします。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチ、ケイト・スペード ニューヨーク、スチュアート・ワイツマンのそれぞれが持つ魅力を集結させたグローバルなマルチブランド企業です。各ブランドが唯一無二の個性をもつ存在でありながら、独自性のある商品と、チャネルや国・地域を超えたブランドならではのカスタマーエクスペリエンスによって定義される革新性と本物志向のコミットメントを共有しています。タペストリー・インクは総合力を発揮して、お客様に感動を与え、コミュニティに力を与え、ファッション業界をより持続可能なものにするとともに、公平で、インクルージョンとダイバーシティーに富んだ企業へと進化していきます。個々の象徴的ブランドがひとつになることで、無限の可能性を追求できるのです。タペストリー・インクの詳細については <http://www.tapestry.com> (英語のみ)をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル TPR で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

###

財務諸表 1: 連結(要約)損益計算書

タバストリー・インク
連結(要約)損益計算書
 2022年4月2日及び2021年3月27日終了の四半期及び9ヶ月
 (単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)

	(未監査)		(未監査)	
	下記期日に終了の四半期		下記期日に終了の9ヶ月	
	2022年4月2日	2021年3月27日	2022年4月2日	2021年3月27日
売上高	\$ 1,437.5	\$ 1,273.3	\$ 5,059.6	\$ 4,130.9
売上原価	432.4	361.4	1,528.4	1,215.1
売上総利益	1,005.1	911.9	3,531.2	2,915.8
販売管理費	835.6	795.2	2,603.9	2,207.5
営業利益(損失)	169.5	116.7	927.3	708.3
負債の消滅による損失	-	-	53.7	-
支払利息	14.8	16.9	46.8	55.0
その他の支出(収入)	3.0	4.4	8.3	(1.8)
税引前利益	151.7	95.4	818.5	655.1
税引当金	29.0	3.7	151.0	20.7
純利益(損失)	\$ 122.7	\$ 91.7	\$ 667.5	\$ 634.4
1株当たり純利益(損失)				
基本	\$ 0.47	\$ 0.33	\$ 2.47	\$ 2.29
希薄化後	\$ 0.46	\$ 0.32	\$ 2.42	\$ 2.25
1株当たり純利益の算出で使用した株式数				
基本	259.9	278.2	269.7	277.5
希薄化後	265.5	285.6	275.9	281.5

財務諸表 2: 売上高内訳

タバストリー・インク
売上高内訳
 2022年4月2日及び2021年3月27日終了の四半期及び9ヶ月
 (単位: 百万ドル)
 (未監査)

	下記期日に終了の四半期		増減率 (2021年度対比)	恒常通貨ベースの 増減率(2021年度対比)	増減率 (2019年度対比)
	2022年4月2日	2021年3月27日			
	コーチ	\$ 1,072.4			
ケイト・スペード	301.5	252.4	19%	21%	7%
スチュアート・ワイツマン	63.6	57.4	11%	10%	(25)%
タバストリー合計	\$ 1,437.5	\$ 1,273.3	13%	14%	8%

	下記期日に終了の9ヶ月		増減率 (2021年度対比)	恒常通貨ベースの 増減率(2021年度対比)	増減率 (2019年度対比)
	2022年4月2日	2021年3月27日			
	コーチ	\$ 3,712.3			
ケイト・スペード	1,101.4	868.4	27%	27%	6%
スチュアート・ワイツマン	245.9	198.3	24%	22%	(19)%
タバストリー合計	\$ 5,059.6	\$ 4,130.9	22%	22%	12%

財務諸表 3: 比較可能性に影響を与える項目 – 2022 年度第 3 四半期

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル, ただし1株当たり純利益を除く)
(未監査)

	2022年4月2日終了の四半期		
	比較可能性に影響を与える項目		
	GAAPベース (報告書)	アクセラレーション・ プログラム	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価			
コーチ	780.0	-	780.0
ケイト・スベード	189.4	-	189.4
スチュアート・ワイツマン	35.7	-	35.7
売上総利益⁽¹⁾	\$ 1,005.1	\$ -	\$ 1,005.1
販売管理費			
コーチ	494.5	1.5	493.0
ケイト・スベード	179.1	0.7	178.4
スチュアート・ワイツマン	42.0	(0.1)	42.1
会社	120.0	4.2	115.8
販売管理費	\$ 835.6	\$ 6.3	\$ 829.3
営業利益(損失)			
コーチ	285.5	(1.5)	287.0
ケイト・スベード	10.3	(0.7)	11.0
スチュアート・ワイツマン	(6.3)	0.1	(6.4)
会社	(120.0)	(4.2)	(115.8)
営業利益(損失)	\$ 169.5	\$ (6.3)	\$ 175.8
税引当金	29.0	7.3	21.7
純利益(損失)	\$ 122.7	\$ (13.6)	\$ 136.3
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 0.46	\$ (0.05)	\$ 0.51

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

財務諸表 4: 比較可能性に影響を与える項目 – 2021 年度第 3 四半期

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル, ただし1株当たり純利益を除く)
(未監査)

	2021年3月27日終了の四半期			
	比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース (報告書)	アクセラレーション・ プログラム	減損処理	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価				
コーチ	718.0	-	-	718.0
ケイト・スベード	160.2	-	-	160.2
スチュアート・ワイツマン	33.7	-	-	33.7
売上総利益⁽¹⁾	\$ 911.9	\$ -	\$ -	\$ 911.9
販売管理費				
コーチ	466.6	4.7	20.4	441.5
ケイト・スベード	168.9	0.9	19.3	148.7
スチュアート・ワイツマン	51.2	3.4	6.1	41.7
会社	108.5	11.4	-	97.1
販売管理費	\$ 795.2	\$ 20.4	\$ 45.8	\$ 729.0
営業利益(損失)				
コーチ	251.4	(4.7)	(20.4)	276.5
ケイト・スベード	(8.7)	(0.9)	(19.3)	11.5
スチュアート・ワイツマン	(17.5)	(3.4)	(6.1)	(8.0)
会社	(108.5)	(11.4)	-	(97.1)
営業利益(損失)	\$ 116.7	\$ (20.4)	\$ (45.8)	\$ 182.9
税引当金	3.7	(3.2)	(9.8)	16.7
純利益(損失)	\$ 91.7	\$ (17.2)	\$ (36.0)	\$ 144.9
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 0.32	\$ (0.06)	\$ (0.13)	\$ 0.51

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

財務諸表 5: 比較可能性に影響を与える項目 – 2022 年度第 3 四半期までの累計

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル、ただし株当たり純利益を除く)
(未監査)

	2022年4月2日終了の9ヶ月			
	比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース (報告書)	負債の消滅	アクセラレーション・ プログラム	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価				
コーチ	2,689.2	-	-	2,689.2
ケイト・スベード	696.6	-	-	696.6
スチュアート・ワイツマン	145.4	-	-	145.4
売上総利益⁽¹⁾	\$ 3,531.2	\$ -	\$ -	\$ 3,531.2
販売管理費				
コーチ	1,564.7	-	4.0	1,560.7
ケイト・スベード	565.4	-	4.2	561.2
スチュアート・ワイツマン	139.9	-	3.2	136.7
会社	333.9	-	20.3	313.6
販売管理費	\$ 2,603.9	\$ -	\$ 31.7	\$ 2,572.2
営業利益(損失)				
コーチ	1,124.5	-	(4.0)	1,128.5
ケイト・スベード	131.2	-	(4.2)	135.4
スチュアート・ワイツマン	5.5	-	(3.2)	8.7
会社	(333.9)	-	(20.3)	(313.6)
営業利益(損失)	\$ 927.3	\$ -	\$ (31.7)	\$ 959.0
負債の消滅による損失	53.7	53.7	-	-
税引当金	151.0	(12.9)	(0.7)	164.6
純利益(損失)	\$ 667.5	\$ (40.8)	\$ (31.0)	\$ 739.3
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 2.42	\$ (0.15)	\$ (0.11)	\$ 2.68

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

財務諸表 6: 比較可能性に影響を与える項目 – 2021 年度第 3 四半期までの累計

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
GAAPから非GAAPへの調整
(未監査)

	2021年3月27日終了の9ヶ月				
	比較可能性に影響を与える項目				
	GAAPベース (報告書)	CARES Act による税効果	アクセラレーション・ プログラム	減損処理	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価					
コーチ	2,251.0	-	-	-	2,251.0
ケイト・スベード	547.4	-	-	-	547.4
スチュアート・ワイツマン	117.4	-	-	-	117.4
売上総利益⁽¹⁾	\$ 2,915.8	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 2,915.8
販売管理費					
コーチ	1,317.6	-	21.2	20.4	1,276.0
ケイト・スベード	474.1	-	4.3	19.3	450.5
スチュアート・ワイツマン	123.0	-	(1.3)	6.1	118.2
会社	292.8	-	44.5	-	248.3
販売管理費	\$ 2,207.5	\$ -	\$ 68.7	\$ 45.8	\$ 2,093.0
営業利益(損失)					
コーチ	933.4	-	(21.2)	(20.4)	975.0
ケイト・スベード	73.3	-	(4.3)	(19.3)	96.9
スチュアート・ワイツマン	(5.6)	-	1.3	(6.1)	(0.8)
会社	(292.8)	-	(44.5)	-	(248.3)
営業利益(損失)	\$ 708.3	\$ -	\$ (68.7)	\$ (45.8)	\$ 822.8
税引当金	20.7	(95.0)	(15.4)	(9.8)	140.9
純利益(損失)	\$ 634.4	\$ 95.0	\$ (53.3)	\$ (36.0)	\$ 628.7
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 2.25	\$ 0.27	\$ (0.15)	\$ (0.10)	\$ 2.23

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

タペストリー・インクは米国会計基準(GAAP)に従って情報を報告しています。経営陣が、非GAAP財務指標を、GAAPに基づいて作成された財務情報から切り離して単独で評価したり、その代用とすることは無く、投資家にそれを推奨するものでもありません。また、タペストリー・インクが用いた非GAAP指標はタペストリー・インク特有のものである場合があり、他社が用いる非GAAP指標とは異なる場合があります。上記の財務情報、販管费率、営業利益率は、2022年度の第3四半期及び最初の9ヶ月間のアクセラレーション・プログラムに関する費用、2022年度最初の9ヶ月間の負債の消滅に関する費用、2021年度の第3四半期及び最初の9ヶ月間の減損処理及びアクセラレーション・プログラムに関する費用、2021年度最初の9ヶ月間にCARES Actに基づいてタペストリー・インクが適用を受けた税法上の優遇措置に関連する特定項目の影響を含む場合と含まない場合の両方で表示されています。

タペストリー・インクはグローバルに事業を運営しており、GAAPに基づいて財務業績を米ドルで報告しています。タペストリー・インク及び各セグメントの純売上は外貨建て売上の米ドル換算に際して為替変動の影響を算入・除外し、前四半期及び前年同期と比較して表示しています。タペストリー・インクは、前期の月平均の換算レートを使って、当期の純売上を現地通貨に換算することで恒常通貨ベースでの純売上を計算しています。

タペストリー・インク及び各セグメントの純売上の変動については、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響を受ける不確実なビジネス環境のため、売上の絶対額の変動に基づくものであり、これまで用いてきたタペストリー・インクの既存店売上上の定義に基づく表示ではありません。

経営陣はこれらの非GAAP及び恒常通貨の指標を使って事業を行い、該当期間に関する営業成績の定期報告の間に事業を評価し、会社のリソース及び業績に関する意思決定を行います。タペストリー・インクは、これらの期間比較ができない項目を除く非GAAP指標を提示することは、投資家及びその他の人々が会社の継続的な営業成績や財務結果を経営陣の業績評価と一致する方法で評価し、それらの結果を会社の過去の業績と比較して理解する上で役立つものと確信しています。さらにタペストリー・インクはこれら指標を恒常通貨ベースで表示することは、前年比の為替レートの変動がこれら業績指標に与える重大な影響について投資家及びアナリストの理解を助け、これらの影響を除外した場合の業績及び業績見込みを評価する枠組みを提供するものと確信しています。

これらの非GAAP指標に加えて、タペストリー・インクは特定の業績及び傾向について、パンデミック前の水準である2019年度との比較を提供していますが、これは新型コロナウイルス感染症の世界的流行が会社の2020年度下半期の事業及び財務状況に多大な影響を及ぼしたため、投資家及びその他の人々が会社の業績を評価する上で有用であると考えたからです。

2022年度業績見直し-非GAAPの調整について

タペストリー・インクは、本プレスリリース及びカンファレンスコールにおいて提示された非GAAP財務指標をGAAPと完全に調整して提供することができません。これはアクセラレーション・プログラムに関連する費用の発生時期や正確な金額など、指標に影響を与える重要項目がまだ発生していないか、タペストリー・インクの管理下にないためです。従って、非GAAP財務指標のガイダンスのGAAP指標との調整は非論理的な手続きなく提示し得ません。可能な限り、タペストリー・インクは2022年度業績ガイダンスから除外された項目によって見込まれる影響を特定しています。

この2022年度の非GAAPベースのガイダンスには、主に株式報酬と専門家の費用で構成される4,000万ドルから4,500万ドルのアクセラレーション・プログラム費用、2025年満期社債及び2027年満期社債の5億ドルの現金対価の公開買付けに伴う保険料、償却費、手数料に関連して2022年度9ヶ月間に発生した5,400万ドルの負債の消滅に関する費用が除外されています。

財務諸表7:連結(要約)貸借対照表

タペストリー・インク
 連結(要約)貸借対照表
 2022年4月2日、2021年7月3日現在
 (単位:百万ドル)

	(未監査) 2022年4月2日	(監査済) 2021年7月3日
資産		
現金及び現金等価物、並びに短期投資	\$ 1,073.0	\$ 2,015.8
売掛金	242.9	200.2
棚卸資産	913.0	734.8
その他流動資産	329.7	424.5
流動資産合計	2,558.6	3,375.3
有形固定資産(減価償却後)	576.6	678.1
オペレーティングリース使用权資産	1,359.7	1,496.6
その他固定資産	2,843.3	2,832.4
資産合計	\$ 7,338.2	\$ 8,382.4
負債及び資本		
買掛金	\$ 478.9	\$ 445.2
未払債務	547.7	661.2
短期オペレーティングリース負債	306.7	319.4
1年内返済予定長期借入金	400.0	-
流動負債合計	1,733.3	1,425.8
長期借入金	1,189.8	1,590.7
長期オペレーティングリース負債	1,356.2	1,525.9
その他負債	523.9	580.7
株主資本	2,535.0	3,259.3
負債及び資本合計	\$ 7,338.2	\$ 8,382.4

財務諸表 8: 連結(要約)キャッシュフロー計算書

タバストリー・インク
連結(要約)キャッシュフロー計算書
2022年4月2日及び2021年3月27日終了の9ヶ月間
(単位:百万ドル)

	(未監査)	(未監査)
	2022年4月2日	2021年3月27日
営業活動によるキャッシュフロー		
当期純利益(損失)	\$ 667.5	\$ 634.4
当期純利益(損失)から営業活動によるキャッシュフローへの調整		
減価償却費	148.1	167.2
負債の消滅による損失	53.7	-
その他の非現金項目	71.5	(38.3)
営業資産及び負債の変動額	(324.4)	181.3
営業活動から生じた現金	616.4	944.6
投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得	(75.1)	(68.9)
有価証券の取得	(523.4)	(0.5)
その他	261.0	25.8
投資活動から生じた(に使用した)現金	(337.5)	(43.6)
財務活動によるキャッシュフロー		
配当金の支払	(202.8)	-
自己株式の取得	(1,249.8)	-
社債の発行による収入(割引後)	498.5	-
負債消滅費用の支出	(50.7)	-
債務の返済	(500.0)	(11.5)
リボルビング・クレジット・ファシリティの返済	-	(700.0)
その他	36.5	22.9
財務活動から生じた(に使用した)現金	(1,468.3)	(688.6)
為替相場変動の現金及び現金等価物に対する影響	(12.3)	13.0
現金及び現金等価物の純増(純減)	(1,201.7)	225.4
現金及び現金等価物の期首残高	\$ 2,007.7	\$ 1,426.3
現金及び現金等価物の期末残高	\$ 806.0	\$ 1,651.7

財務諸表 9: ブランド毎の店舗数 – 2022 年度第 3 四半期

<u>タペストリー・インク</u>				
店舗数				
2022年1月1日、2022年4月2日現在 (未監査)				
直営店舗数:	2022年 1月1日現在	出店数	(閉店数)	2022年 4月2日現在
<u>コーチ</u>				
北米	354	-	(8)	346
海外	600	15	(9)	606
<u>ケイト・スペード</u>				
北米	209	-	(2)	207
海外	192	5	(5)	192
<u>スチュアート・ワイツマン</u>				
北米	43	-	(3)	40
海外	57	-	-	57

財務諸表 10: ブランド毎の店舗数 – 2022 年度第 3 四半期までの累計

<u>タペストリー・インク</u>				
店舗数				
2021年7月3日、2022年4月2日現在 (未監査)				
直営店舗数:	2021年 7月3日現在	出店数	(閉店数)	2022年 4月2日現在
<u>コーチ</u>				
北米	354	3	(11)	346
海外	585	39	(18)	606
<u>ケイト・スペード</u>				
北米	210	-	(3)	207
海外	197	9	(14)	192
<u>スチュアート・ワイツマン</u>				
北米	48	-	(8)	40
海外	56	1	-	57

###